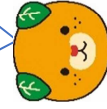


繰り返すと、きつ
とおぼえられる
よ！



かなをよまひ
へんをよまひ。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文の —— 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 日本の食物を輸出する。
- 2 姉は現在、大学生だ。
- 3 書道の才能がある。
- 4 ねこの額ほどの庭。
- 5 兄は運動部に所属している。

1	
2	
3	
4	
5	

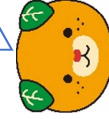
二 次の 1 から 5 までの文の —— 部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 しりようを集めて調べる。
- 2 手芸のぎじゆつを高める。
- 3 きわどい勝負をはんていする。
- 4 わたあめを食べる。
- 5 えいきゆうに人々の心に残る。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「輸出」の反対の言葉は「輸入」だよ。「輸」と似ているけどちがう字だよ。
- 2 「今」という意味だよ。「現」は「現実」と、「在」は「存在」と同じ読みだよ。
- 3 「能」は「能力」と同じ読みだよ。
- 4 「おでこ」のことで、「ひり」と読むよ。「ね」の額」は「うてもせまい」とをだしてているよ。
- 5 団体やグループのメンバーに入っていることを「しよ〇〇」と言うよ。
- 二 1 「しげん」の「し」、「りようり」の「りよう」と同じ漢字だよ。
- 2 「ぎ」の部首は「てくん」、「じゆつ」の部首は「ぎようがまえ・ゆきがまえ(行)」だよ。
- 3 「はんたん」の「はん」、「よてい」の「てい」と同じ漢字だよ。
- 4 「めん花」や「めん」のシヤツ」の「めん」と同じ漢字だよ。
- 5 「えい遠」の「えい」と同じ漢字だよ。「きゆう」は「ひそ(しり)」とも読むよ。



かなをよまひ
へんをよまひ

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 多くの利益を期待する。
- 2 夏休みに統計グラフを作る。
- 3 絵をかざる場所を指示する。
- 4 防犯ベルを持つ。
- 5 居間のそうじをする。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の 1 から 5 までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 二人の字がにている。
- 2 ひじょう口を確かめる。
- 3 下り列車がこんどつする。
- 4 友達のさそいをことわる。
- 5 じょうほうを活用する力。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「り〇き」と読むよ。「あうけ」のことだよ。
- 2 「統」は「統一」と同じ読みだよ。
- 3 「指」は「指き者」と、「示」は「表示」と同じ読みだよ。
- 4 「防」は「防火」と、「犯」は「犯罪」と同じ読みだよ。
- 5 「居間」は「ふだん居る部屋のこと」だよ。
- 二 1 「いぜん」、「いじょう」の「い」に「にんぐん」を書くよ。
- 2 「ひ」は「かな(しい)」の上の部分、「じょう」は「つね(じ)」と同じ漢字だよ。
- 3 「こん(合物)」の「こん」、「ぞつ(学)」の「ぞつ」と同じ漢字だよ。
- 4 「はんだん」や「おうだん(鉄道)」の「だん」と同じ漢字だよ。
- 5 「感じ(ょう)」の「じょう」、「ほう(道)」の「ほう」と同じ漢字だよ。

くり返して、少しずつおぼえてね！



かなをよまひ
へんをよまひ。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文の — 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 快適な温度で過す。
- 2 手紙の最初に前略と書く。
- 3 物を買って税金をはらう。
- 4 高い山は酸素がうすい。
- 5 眼前に広がるすばらしい風景。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の 1 から 5 までの文の — 部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 花びんの水がへる。
- 2 細かくけんさする。
- 3 国の選挙せいどを学ぶ。
- 4 犬をかい始める。
- 5 あつがみに字を書く。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「快」は「快晴」と、「適」は「適切」と同じ読みだよ。
- 2 「前略」は「前文を略す」という意味だよ。
- 3 「消費税」は「税金」の一つだよ。
- 4 「酸」は「炭酸」と同じ読みだよ。
- 5 「眼」は「眼科」と同じ読みだよ。「前」は音読みをするよ。
- 二 1 「人口げん少」の「げん」と同じ漢字だよ。
- 2 「けん」の部首は「きくん」だよ。「険」と似ているよ。
- 3 「せい限」の「せい」、「温ど」の「ど」と同じ漢字だよ。
- 4 「しよくくん」と「し会者」の「し」の組み合わせだよ。
- 5 「暑(い)」や「熱(い)」という漢字を書いてはいけないよ。

たくさんの言葉を
使えるようになり
たいね！



かなをよまひ
へんごをよまひ。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 何よりも大切な財産。
- 2 組織の一員になる。
- 3 自分の罪をつぐなう。
- 4 国境の近くまで行く。
- 5 社会科で武士について学ぶ。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の 1 から 5 までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 物質がえきたいになる。
- 2 遠足のじゅんぴをする。
- 3 ぞうせんで有名な町。
- 4 身体そくていをする。
- 5 大会に出てしょうひんをもらう。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「財」は「財産」と同じ読みだよ。
- 2 「組」は同じつくりをもつ「祖」と同じ読みだよ。
- 3 「〇み」と読むよ。「罰」と書くと「ばつ」と読むよ。
- 4 国と国の境目のことを「国境」と言うよ。「境」は「境界」と同じ読みだよ。
- 5 ちむらいのことで、「武」は「武道」や「武器」と同じ読みだよ。
- 二 1 「えき」は「えきずい」に「よる」と書くよ。
- 2 「じゅん決勝」の「じゅん」、「設ひ」の「ひ」と同じ漢字だよ。
- 3 「ぞうせん」とは「ふねをつく(る)こと」で、漢字の順番は逆になるよ。
- 4 「計そく」の「そく」、「予てい」の「てい」と同じ漢字だよ。
- 5 「しょう」は「しょうじょう」と同じ漢字だよ。

正しくおぼえら
れるよう、ていねい
に書こうね。



かなをよま
へようよ。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 銅賞に選ばれる。
- 2 日程を調整する。
- 3 月一回刊行される。
- 4 一年近く留學した。
- 5 久しぶりの再会を果たす。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の 1 から 5 までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 教おおく年前の地球。
- 2 学校のしゅういに木を植える。
- 3 気に入ったぬのを買う。
- 4 ぜつたいに成功する。
- 5 商品のきんがくを見る。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 オリンピックのメダルは「金・銀・銅」だね。
- 2 「程」は「程度」と同じ読みだよ。
- 3 新聞や本を世に出すことで、「週刊」「月刊」などがあるよ。
- 4 「留」は「る」と読んではいけないよ。
- 5 ふたたび会うことで、「〇い〇い」と読むよ。
- 二 1 部首は「にんべん」だよ。
- 2 「しゅう」は「おわり」、「い」は「から(む)」という字だよ。
- 3 「ぬの」は「毛ふ」の「ふ」と同じ漢字だよ。
- 4 「たい」は「体」と書いてはいけないよ。
- 5 「がく」は「おおかい」と「おきやくせん」の「きやく」を組み合わせるよ。



かなをよまひ
へんごをよまひ。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文の — 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 講演会(こうえんかい)でいい話を聞く。
- 2 道徳(どうとく)の時間にじつくりと考える。
- 3 自分の祖先(せんぜん)のことを調べる。
- 4 領地(りやうち)を広げる。
- 5 険(けん)しい山道を歩く。

1	
2	
3	
4	
5	

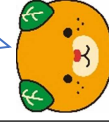
二 次の 1 から 5 までの文の — 部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 書く(かく)じゆんじよ(じゆんじよ)を考える。
- 2 せいしん(せいしん)的な安定(あんてい)を得る。
- 3 新しいねんり(ねんり)よう(よう)を探す。
- 4 お寺(てら)のほんとう(ほんとう)で話を聞く。
- 5 自分の考え(かんが)をのべる。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「講」は同じつくりをもつ「構」と同じ読みだよ。「演」は「演ぞう」と同じ読みだよ。
- 2 「徳」は「人徳」、「美德」と同じ読みだよ。
- 3 「子孫」と反対の意味の言葉だよ。「祖」は「祖父」、「祖母」、「祖国」と同じ読みだよ。
- 4 「領」は「大統領」と同じ読みだよ。
- 5 問題が難(むずか)しすぎると、険(けん)しい表情になるよね。
- 二 1 「じよ」は「まだれ」に「伊豆の国」の「よ」と書くよ。
- 2 「せい」は「せいめくん」、「しん」は「しめすくん」だよ。
- 3 「ねん」は「も(える)」という字だよ。「りよう」は「ぞいりよう」の「りよう」だよ。
- 4 「ほんや」の「ほん」に「しよくどう」の「どう」だよ。
- 5 「の(べる)」は「じゆつ語」の「じゆつ」の訓読みだよ。



かなをよまひ
へんごをよまひ。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 夫と妻。
- 2 古い校舎を建て直す。
- 3 婦人服売り場に行く。
- 4 毎日の習慣となってる。
- 5 入場者の総数を発表する。

1	
2	
3	
4	
5	

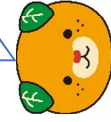
二 次の 1 から 5 までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 つねに自分に正直である。
- 2 自然豊かな町にいじゅうする。
- 3 日本のでんとうを見直す。
- 4 かこと未来。
- 5 車をはしによせる。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「夫妻」の女性のほうだよ。
- 2 「舎」は「寄宿舎」や「駅舎」と同じ読みだよ。
- 3 「婦」は「主婦」と同じ読みだよ。
- 4 「習」は「学習」、 「慣」は「慣用句」と同じ読みだよ。
- 5 「総」は「総合」や「総額」と同じ読みだよ。
- 二 1 「つね」は「日じよう」の「じよう」と同じ漢字だよ。
- 2 「いじゅう」は「よその土地へうつりすむこと」だよ。
- 3 「でん」の部首は「にんべん」、 「とう」の部首は「いとくん」だよ。
- 4 「かこ」は「すぎさる」と書くよ。
- 5 「やねの下に大きな可能性がある」というふうに覚えるといいかもしれないよ。



かなをよまひ
へんごをよまひ。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文の — 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 自分で弁当を作る。
- 2 大きな運河を船が進む。
- 3 製品を管理する。
- 4 修正テープで直す。
- 5 重要な仕事を任される。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の 1 から 5 までの文の — 部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 今年はキウイがほうさくだ。
- 2 中学校のせいふくを着る。
- 3 すばらしいえだぶりの松。
- 4 なだけは人のためならず。
- 5 新学期に身長をはかる。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「弁」は「関西弁」と同じ読みだよ。
- 2 「運」は「運動」と、「河」は「銀河」と同じ読みだよ。
- 3 「製」は「日本製」と同じ読みだよ。
- 4 「修」は「修理」と同じ読みだよ。
- 5 任されたことは責任をもつてやるよ。
- 二 1 「ほう」は「ゆた(か)」という漢字だよ。反対は「ふさく」だよ。
- 2 「せい度」の「せい」、「洋ふく」の「ふく」と同じ漢字だよ。
- 3 「きくん」に「えだ(える)」と書くよ。
- 4 「りっしんぶん」に「あお」と書くよ。「感じよう」、「じよう熱」と同じ漢字だよ。
- 5 「そく定」の「そく」だよ。同じ読みをするものに「計る」、「量る」があるよ。



かなをよまひ
へんをよまひ。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文の — 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 不安が半減する。
- 2 ノートの余白にメモをする。
- 3 アジア一帯に分布する植物。
- 4 日に当てた方が断然よく育つ。
- 5 新幹線に乗る。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の 1 から 5 までの文の — 部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 文化祭にしようたいする。
- 2 絵本をもらつてよろこぶ。
- 3 しえいプールで泳ぐ。
- 4 見事なぎやくてんげきだ。
- 5 円周りつを学ぶ。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「減」は「減少」と同じ読みだよ。同じ読みで、意味がちがう言葉に「現象」があるよ。
- 2 「余」は「余分」と同じ読みだよ。「あまつたしろい部分」のことだよ。
- 3 「布」は、「ふ」ではなく、「しつ布」と同じ読みだよ。
- 4 「断」は「決断」、「然」は「自然」と同じ読みだよ。
- 5 「北陸新幹線」が走るようになったね。
- 二 1 「しよう」は「まね(く)」、「たい」は「ま(つ)」という漢字だよ。
- 2 総画数は十二画で、「口」が二つあるよ。
- 3 「し」がえい業している」ということだよ。
- 4 「さかさにころがる」と書くんだよ。「てん」は「点」と書いてはいけないよ。
- 5 野球で「打ちつ三割」つてすこいよね。



かなをよま
へんをよま。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 友人からの信らいを得る。
- 2 手際よく作業を進める。
- 3 綿花の輸出量を国ごとに示す。
- 4 政界の勢力図。
- 5 少年よ大志を抱け。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 れきしの勉強は楽しい。
- 2 指で方角をしめす。
- 3 海外にしゅつちようする。
- 4 奈良のだいぶつを見る。
- 5 にくがんで見える星。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「得る」は「手に入れる」という意味だよ。
- 2 「際」は「さい」とは読まないよ。「窓際」と同じ読みだよ。
- 3 「綿」は「綿織物」、「綿製品」と「花」は「花びん」と同じ読みだよ。
- 4 「勢」は「し勢」と同じ読みだよ。
- 5 「大」は「だい」と読んではいけないよ。「志」は「意志」や「志願」と同じ読みだよ。
- 二 1 「れきし」の「れき」は、漢字辞典では「止」の部に出ているよ。
- 2 「ネ(しめすへん)」は、この字がもとになっているよ。
- 3 「ちよう」は「ゆみへん」に「なが(い)」と書くよ。
- 4 「だいぶつ」は「お・おきいほとけ」だよ。
- 5 望遠鏡などを使わずに見ることだよ。「がん」は「がん科」と同じ漢字だよ。